

第2回常総市「道の駅」基本計画策定検討会議 議事要旨

平成30年10月26日に開催した第2回常総市「道の駅」基本計画策定検討会議での、主なご意見等を以下に示します。

- 市民の皆さんの意見集約の中にある「その道の駅にしかない施設利用」これがまさに地域資源ではないかと思う。道の駅を常総市のひとつの入り口として、様々な地域資源とどう繋げていくかが大切であり、そのためには、コンシェルジュを育てたり、野菜ソムリエを育てたりしていくことで農家の方にも繋がると考える。
- 施設について、どのような形態をイメージするのか。木造でやる場合は、県の補助金が出る可能性がある。その辺も今後の検討には入れてほしい。
- 綺麗なトイレは当たり前で、開業当初は綺麗でも維持管理を徹底しないと続かない。その場合、維持管理費もかかるのでよく検討する必要がある。
- オープンの時期は非常に大切だと思うので、生産物の多い秋にオープンというのも、可能であれば検討してほしい。
- 大洗のガルパンのように日めくりメモ帳に割引チケットをつけて市内を周遊してもらうなど、市のPRをするとよいと考える。
- 食事レストランについては、団体で食べられるようにしてほしい。バスの団体にて、トイレ休憩をしてもらい、食事をしてもらい、物産もしていただく。それでアグリサイエンスバレーということで果実狩り等もできるということで魅力のPRにも繋がると考える。
- 観光では、距離と時間でバスの料金が定められているので、距離も時間も一括でできれば料金もバス代も安くなり、ツアー会社等からも魅力になる場所になると思われる。
- 運営に関して、他の道の駅で半官半民のような上に官がいるというところでは、お金は出さないが売り上げは上げろといった内容もあり、商売はお金を出すことが先であり、入りは後になるので結果として利益が出ないという事例も聞いたので、運営面も良く検討してほしい。
- 道の駅における市内周遊の案内を商業だけでなく、農業者や農家を案内してもらい、そこから足を延ばしてもらえれば、そこでも美味しいものに出会えると思う。
- 駐車場について、障がい者用の他に、妊婦用とかもあると女性にやさしい環境になると思う。また、生産者が自ら関わられるような定期的なイベントなどを開催するのも良いと考える。
- 体験農業とかを、道の駅で行うのではなく、そこで農家さんを案内し体験してもらうということも良いと考える。また、最近はペットにお金をかける方が増えてきており、また、このあたりにはドッグランがないので、都内などからの誘客のためにも設置を検討してほしい。
- 最近では、SNSを使って拡散ということがあるので、季節を感じてもらえるような目で楽しむ、味で楽しむ道の駅としてほしい。また、ドッグランを設置するならばペットの病院を併設してもらえると良いと考える。
- 新規就農者が呼べるようなコミュニティ施設があると良いと考える。新規就農はハードルが高いので、農地エリアの取り組みと合わせて上手く取り組んでほしい。